

令和4年度 芦別市一般会計予算概要

政府においては、国の令和4年度予算編成にあたって、新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとする新しい資本主義の実現を目指すこととし、具体的には科学技術立国の実現、地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」の推進に向けた成長戦略・分配戦略に重点的に予算を配分するとともに、東日本大震災を始めとする各地の災害からの復興・創生や老朽化対策を含む防災・減災、国土強靱化等に対応することを基本方針とし、地方財政対策においては、地方が行政サービスを安定的に提供しつつ、地域のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組の推進、消防・防災力の一層の強化などの重要課題に取り組めるよう令和3年度を上回る地方財政対策を講ずるとしているところです。

本市においては、昨年は市長選挙のため、令和3年度予算を骨格予算として編成しましたが、令和4年度は、長引くコロナ禍から、様々な施策の推進が停滞せざるを得ない状況が続いたことから、改めて、第6次総合計画に掲げる目指すまちの将来像の実現に向け、さらに一歩踏み出す年として捉えながら、コロナ感染対策に、引き続き万全を期すとともに、第2期総合戦略、財政基盤強化集中改革プランとの三位一体での取り組みをもって、持続可能な市政(まちづくり)、市民の福祉増進と移住・定住や子育て支援施策の拡充等による人口減少対策の推進、行政サービス等のデジタル化への対応、公共施設等の長寿命化対策を中心に予算を編成したところです。

この結果、一般会計予算の総額は、115億4,700万円で、骨格予算として編成した前年度当初予算との対比では、15億5,800万円、15.6%の増加となるとともに、前年度の政策予算となる5月補正後の予算総額106億6,620万円と比較すると、8億8,080万円、8.3%の増加となりました。

令和4年度予算の主な内容につきまして、「第6次芦別市総合計画」の分野別に掲げると、次のとおりとなります。

1 「市民とともに歩む協働のまち」に係る施策の推進として

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ・ 情報共有・市民参加と協働の促進 | 18,351 千円 |
| ・ 行政サービス等のデジタル化の推進 | 24,003 千円 |
| ・ 星の降る里あしべつ応援大使との連携【総合戦略】 | 436 千円 |
| ・ 中空知広域市町村圏組合をはじめとした広域連携の推進 | 2,465 千円 |

- ・ 持ち家取得奨励金制度の拡充【総合戦略】 37,500 千円
- ・ 地域おこし協力隊の増員【総合戦略】 25,227 千円

2 「豊かな自然と共生する安全・安心なまち」に係る施策の推進として

- ・ コンパクトなまちづくりに向けた「立地適正化計画」の策定 8,173 千円
- ・ 街路灯のLED化による脱炭素化の推進 33,300 千円
- ・ 橋りょう長寿命化計画に基づく橋りょう整備事業 45,500 千円
- ・ 持続可能な交通ネットワーク構築のための地域公共交通計画等の策定 3,091 千円
- ・ 空き家等解体助成事業 1,500 千円
- ・ ことぶき団地建替事業の推進 612,132 千円
- ・ 備蓄計画に基づく備蓄品の整備と避難所の長寿命化対策【総合戦略】 20,625 千円

3 「地域の資源や特性を活かした産業が伸展するまち」に係る施策の推進として

- ・ 新規就農者等に対する各種助成による担い手確保【総合戦略】 2,966 千円
- ・ スマート農業推進事業【総合戦略】 308 千円
- ・ ICT等活用したスマート林業の実証事業への協力と林業担い手確保推進協議会への参画 530 千円
- ・ 企業振興奨励金等の補助制度による中小企業支援【総合戦略】 35,156 千円
- ・ ふるさと就職奨励金【総合戦略】 2,720 千円
- ・ 大学生等を対象とした市内企業見学会の開催【総合戦略】 308 千円
- ・ 求人情報サイトの運営【総合戦略】 1,177 千円
- ・ 健民センター整備事業（国民宿舎の長寿命化対策） 81,933 千円

4 「ひとに優しい、ふれあいと温もりのあるまち」に係る施策の推進として

- ・ 妊産婦安心出産支援事業による通院交通費の助成【総合戦略】 558 千円
- ・ 不妊治療費の助成【総合戦略】 300 千円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業の推進 21,365 千円
- ・ 高校生までのインフルエンザワクチン接種費用の助成等による予防接種事業の拡充 15,654 千円
- ・ 医療費助成制度の高校生までの拡大 4,080 千円
- ・ 幼児教育・保育無償化に伴う負担金対応 154,073 千円
- ・ 特定教育・保育施設多子世帯副食費の助成【総合戦略】 756 千円
- ・ 高齢者保健事業における歯科検診の実施 501 千円

5 「地域とともに、学ぶよろこびを実感できるまち」に係る施策の推進として

・ 芦別高校と連携した「地方創生塾」の実施	1,200 千円
・ 市民会館・青年センター整備事業（長寿命化対策）	22,676 千円
・ ブックスタート事業の拡充	80 千円
・ コミュニティスクールの推進【総合戦略】	571 千円
・ 学校給食センター整備事業	26,201 千円
・ 芦別高等学校入学生のうち市内に住所を有する保護者に対する 修学奨励費助成金の交付【総合戦略】	4,000 千円
・ 修学奨励金交付事業等による私立学校の学生確保を支援 【総合戦略】	6,803 千円

歳出につきましては、経常費が101億4,580万8千円（構成比87.9%）で、PCB廃棄物処理業務委託料、ごみ収集業務委託料、下水道事業特別会計に対する繰出金、一般職給などが減少する一方、ふるさと納税に要する感謝特典報償金等の経費、ふるさと応援基金積立金、長期債償還元金、退職手当組合追加負担金などが増加したことから、
前年度当初予算対比で7億9,453万3千円、8.5%の増加となりました。

事業費は、14億119万2千円（構成比12.1%）で、ことぶき団地建替事業、市道街路灯のLED化、本町地区生活館や国民宿舎、市民会館等の公共施設の長寿命化対策などが増加したほか、前年度は骨格予算のため継続事業を基本とした最小限の計上にとどめていたことから、
前年度当初予算対比で7億6,346万7千円、119.7%の増加となりました。

歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金や臨時財政対策債が減少する一方、普通交付税、ふるさと応援寄附金、地方消費税交付金、地方譲与税などが増加することから、
前年度当初予算対比で15億5,800万円、15.6%の増加となりました。

普通交付税につきましては、前年度本算定による決定額42億8,912万5千円に地方財政計画の伸び率等を勘案して見積もったところ、国勢調査に伴う人口減少の影響を想定して見積もった前年度当初予算との対比では、5億2,300万円増加の42億6,000万円を見込んだところではありますが、交付税の財源不足を補う臨時財政対策債につきましては、地方財政対策において税収増が見込まれていることから、67.5%の大幅な減少となっており、前年度当初予算対比で2億4,500万円、74.0%減少の8,600万円を見込み、これらを合計した実質的な普通交付税の

総額は、43億4,600万円で、前年度当初予算対比で2億7,800万円、6.8%の増加となりました。

なお、歳入が歳出に対して不足する額は2億7,582万円となり、全額財政調整基金を繰り入れて収支の均衡を図ったところではありますが、財政調整基金の繰入額につきましては、前年度当初予算対比で1億4,343万円、108.3%の増加となりました。

このことは、歳入において、普通交付税やふるさと応援寄附金が増加しているものの、歳出においては基本的な行政サービスの確保をはじめ、子育て支援や高齢者・障がい者等に係る社会保障費、公共交通の維持や定住・雇用対策、産業振興策などの地域課題への対応により歳出の硬直化が進む中であって、人口減少を食い止めるための移住・定住施策の充実、老朽化した公共施設を安全で快適に維持するための長寿命化対策をはじめ、時代の流れに対応するための行政サービス等のデジタル化の取組などに重点的に予算配分を行ったことによるものです。

こうしたことから、今後においても行財政改革に取り組みながら、限られた財源の中で、着実に成果をあげていく行政運営に努め、「縮充と連携」の視点をもって財政の健全化と市民サービスの充実を図っていく必要があります。

なお、令和4年度における「縮充と連携」の具体的な取組につきましては、公営住宅の建て替えによる管理戸数の縮減や児童デイサービス事業を民間に移行するほか、美唄市、赤平市、三笠市、滝川市及び歌志内市との連携による生活困窮者への就労準備支援、中空知5市5町による広域的な公共交通計画の策定などを実施するものです。

一方、新型コロナウイルス感染症への対応については、追加ワクチン接種を円滑に実施するほか、令和3年度の国の補正予算に伴う「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を主要な財源として、基本的な感染防止対策をはじめ、アフターコロナを見据えた経済対策等を講じるとともに、現状の第6波の推移を見極めながら、地域経済の回復に向けた活性化策等について、補正予算対応していくこととしております。